

島津氏対豊臣氏 ウォーキングコース

九州の戦国時代の代表的な戦いの地

薩摩国(鹿児島県)の島津氏と豊後国(大分県)の大友氏のそれぞれの軍勢が戦った天正6年(1578年)の第一次高城合戦の主な史跡をポイントとしたウォーキングコースです。

コース全体 約5.1km 約50分

- ①城山公園
↓(徒歩0.7km...約6分)
 - ②十一面観音座像
↓(徒歩1.2km...約12分)
 - ③天正六年古戦場跡
↓(徒歩0.9km...約9分)
 - ④北郷蔵人供養墓
↓(徒歩2.3km...約23分)
 - ⑤城山公園
- ※距離と時間は目安です。

1 城山公園(高城跡)(町指定文化財)

標高60mの高台にあり、空堀や土塁がほぼ当時のままの形が残されており、天正年間の2回の戦いでも落城しなかった戦国時代の山城であり、高城合戦の舞台として広く知られています。



2 十一面観音座像(町指定文化財)

天正13年(1585年)に高城城主である山田新介有信が興福寺本尊として寄進した坐像で平成2年に木城町指定有形文化財に指定されました。



START
城山公園
P WC

宗麟原供養塔

3 天正六年古戦場跡

天正6年(1578年)にあった第一次高城合戦の主戦場となった場所です。大友宗麟の軍勢3万と、島津義久の軍勢2万が戦ったものです。高城跡と佐伯宗天が陣どった惣陣の景観が見られます。

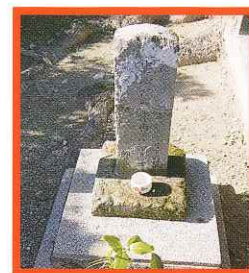


START
木城町総合交流センター
P WC

交通量が多いので注意!

4 北郷蔵人供養墓

天正6年(1578年)の第一次高城合戦において、島津氏の武将である北郷蔵人久盛がこの付近で戦死した為、建立された供養墓です。



東九州自動車道
高鍋IC方面



3 根白坂古戦場跡

高城の南西方向約3kmの台地端部に位置しています。北方は段丘崖に面し、南方は台地に続きます。現在も平坦部と空堀の形が残存し丘崖があります。天正15年(1587年)の第二次高城合戦の中心地として知られています。



2 中椎木大師堂板碑

天正14年(1586年)の戸次川の戦いにおいて、四国勢と戦った島津家久が大勝利を取った時に木城町から出陣した武士の供養の為建立された板碑として知られています。



4 黒田孝高陣跡推定地

高城が位置する台地より、小丸川を挟んだ台地に位置しています。この武将は、一般的には黒田官兵衛として知られ、軍事的才能に長け、豊臣秀吉の側近として調略や他大名との交渉等幅広い活躍が有名な武将です。



交通量が多いので注意!

高城跡が一望出来ます。

根白坂古戦場跡の説明板があります。

コース全体 約14.5km 約180分

- ①木城町総合交流センター
↓(徒歩1km...約11分)
 - ②中椎木板碑
↓(徒歩2km...約26分)
 - ③根白坂古戦場跡
↓(徒歩2km...約26分)
 - ④黒田孝高陣跡推定地
↓(徒歩約7.5km...約100分)
 - ⑤木城町総合交流センター
- ※距離と時間は目安です。

島津氏対豊臣氏 ウォーキングコース

豊臣秀吉の九州征伐の決戦の地

薩摩国(鹿児島県)の島津氏と豊臣秀吉のそれぞれの軍勢が戦った天正15年(1587年)第二次高城合戦の主な史跡をポイントとしたウォーキングコースです。体力が必要なコースです。

